

第6回 念仏と黙想と語らいの集い

原始教団の法座の原点に帰り、念仏と、黙想(沈黙)、自由に法を語り合う時間を共に過ごしませんか。従来の分級座談会の枠を破るきっかけになればと願い始めました。この集いでは、一同で称名念仏と、静かな時間を繰り返し持ち、比較的少人数で、各自が自由に喜びや法味を分かち合う時間を持ちます。昨年から、セッションの合間に、法語(お聖教)を頂き味わう時間も持っています。念仏は、自己の殻を破る秤(はかり)です。これまでの集いでは、信、未信を問わず、各々が自分をうち出し、共に喜びや味わいを語り分かち合う貴重な集いとなりました。今回は、2日目の昼座を京都支部家庭法座と合同としました。まとめの意味でのご法話もいたします。皆さまとの新たな出会いになればと楽しみにしております。合掌

◇日 時：12月21日(土)13:30(受付13:00)～22日(日)16:30

◆会 場：華光会館(京都市南区西九条東柳ノ内町22)

◇参加費：一般＝9,000円(1日のみ 一般＝4,500円)

同人＝8,000円(1日のみ 同人＝4,000円)

学生＝7,000円(1日のみ 学生＝3,500円)

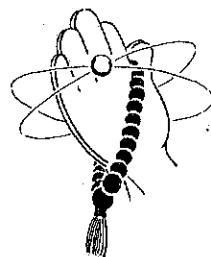
◆宿泊費：3,000円(食事は各自で)

◇切 切：12月14日(土) (20名程度で締め切ります)

◆申込先：華光会館まで。

電話(075-691-5241)・FAX(075-661-6398番)又は、

Eメール(keko-kai@mbm.nifty.com)や華光会HPからどうぞ。



「(野口道場の)同行たちは、口々に言うことが違っているが、しかし大きな点は如来に統一されている。他の法席では、如来を見ずに善知識ばかりが見えるが、ここでは知識は見えずに如来ばかりが見える。中心は如来様で、人間の言葉は単なる発声器に過ぎない。如来はこうだとか、ああだとか理屈をこねる人がないだけに、如来様が全体に輝いている。それらの言葉によって自己を証明され、反省され、沈黙のうちに会得する一私はよい同行の団体を知ったと思って喜んだ。」(伊藤康善著(『仏敵』より))

◎「修正会」 2年1月1日(祝)13時30分～16時30分

◎「報恩講法座」2年1月11日(土)13時30分～12日(日)16時30分

